

自然豊かな川づくり ～令和7年度河川水質検査結果～

和水町と菊池川流域同盟（菊池川流域9市町）では、町内の河川11箇所の水質検査を年2回実施しました。検査結果は以下のとおりでした。

河川水質の悪化は事業所からの排水や生活雑排水が主な原因となっています。私たちの心がけ次第で川をきれいにすることが出来るのです。町の美しく豊かな河川を保全するため取り組んでいきましょう。

和水町河川水質検査結果一覧表

	①江田川（カヌー館前）		②日平川（通道橋下）		③久米野川（岩尻水上）		④久米野川（蛇田眼鏡橋下）	
検査項目	6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月
BOD（mg/ℓ）	0.9	0.8	0.5未満	0.5	0.5未満	0.7	0.5未満	0.5
SS（mg/ℓ）	8.8	4.1	2.4	1.5	7.6	2.0	5.8	1.0未満

	⑤久井原川（久井原橋下）		⑥内田川（眼鏡橋下）		⑦深倉川（下津原東井堰下）		⑧藤田川（内藤橋下付近）	
検査項目	6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月
BOD（mg/ℓ）	0.8	0.7	0.7	0.8	0.5未満	0.6	0.5未満	0.5
SS（mg/ℓ）	6.1	2.4	3.6	3.3	1.6	2.2	1.5	1.0

	⑨和仁川（中学校橋 上流）		⑩岩村川 （国道443号岩村橋下）		⑪和仁川・十町川合流下 （津田橋下）		菊池川基準
検査項目	6月	12月	6月	12月	6月	12月	基準値
BOD（mg/ℓ）	0.5未満	0.7	0.5未満	0.6	0.5	0.5	2mg/ℓ以下
SS（mg/ℓ）	1.9	1.7	8.2	1.6	6.1	2.1	25mg/ℓ以下

用語の説明

BOD・・・生物化学的酸素要求量のこと。河川水の中の汚染物質が微生物によって無機化あるいはガス化するとき必要とされる酸素量。この数値が大きくなれば、その河川水には汚染物質が多く水質が汚濁していることを意味する。10mg/ℓ以上になると悪臭等の発生がみられる。（基準値2mg/ℓ以下）

SS・・・粒径2mm以下の水に溶けない懸濁性の物質をいう。水の濁りの原因となるもので魚類等の生息に影響を与えたり、日光の透過を妨げることによって水生生物の光合成作用を妨害するなどの有害作用がある。また、有機性浮遊物質の場合は河床に堆積して腐敗するため、底質を悪化させる。（基準値25mg/ℓ以下）